

久喜市・ローズバーグ協会だより

発行 久喜市・ローズバーグ協会
発行日 2023年5月1日



ご挨拶

久喜市・ローズバーグ協会 会長 平澤 香

久喜市そしてローズバーグ市の皆さん、こんにちは。

新型コロナウイルス感染症の関係で、世界的にはまだ安心できる状況ではありませんが、このような困難な状況の中でも、お陰様で「友情と理解」のスローガンのもと、両市の絆は着実に深まっております。幸いにも、2023年(令和5年)6月には5年ぶりに、久喜市の一般市民訪問団をローズバーグ市へ派遣することになりました。それに伴い前回2018年(平成30年)の訪問の様子を本号では特集いたしました。今年度は、1993年旧菖蒲町がローズバーグ市と姉妹都市を提携して30周年、1994年からは一般市民との交流も始まりました。今回の訪問をきっかけに、新たな交流の幕開けとしたいと考えておりますので、市民の皆様の変わらぬご支援・ご協力を、今後とも宜しくお願いいたします。



姉妹都市提携5周年記念樹
1998年(平成10年)10月29日・しみん農園

ローズバーグ市と旧菖蒲町の姉妹都市提携5周年を記念し、更に友好を深めることを願って、アメリカの木「花水木」と日本の木「桜」が、両市民により植樹されました。

中学生交流で得たもの

2000年 派遣参加 河岡 緑

初めての海外経験となったホームステイでは、大きく2つのことを得ました。1つ目は、英語をもっと学びたいという意欲です。海外で知り合った友人とのその後のやりとりは、英語を勉強する励みに繋がりました。2つ目は、海外の方達とのコミュニケーションで大事なことは言語だけでなく、理解したい、喜んでもらいたい、といった気持ちだと気付いたことです。日本国内にいても様々な国籍の方と関わることの多い時代ですので、身につけてよかった感覚だと思っています。

今回、23年前に中学生交流に参加した河岡さんから貴重な感想をいただくことが出来ました。ありがとうございました。

ローズバーグ市との中学生交流は、世界に開かれた大きくて安心安全な窓との想いを強くしました。

2023年

ローズバーグ市親善訪問 2023.6.1▶6.8

再開
決定

すでに、広報久喜2月号でご案内の通り、親善訪問が5年ぶりに再開されます。
定員20名程度と募集を行いましたところ11名の参加希望を得て、着々と訪問の計画準備を行なっているところです。今回は諸般の事情により8日間の訪問となりました。

計画の概略は以下の通りです。今回はユージーン空港でローズバーグ協会の方々のお迎えを受けることになりました。ホストファミリーと過ごす時間が増え、コミュニケーションを深めながら、滞在の内容を作り上げていくことになります。また、現在、協会の方々がわくわくする計画を練ってくださっています。これまで以上に、密度の濃い交流ができるものと確信しております。

わくわく・ときどきの連続になりますよ!

月日(曜)	行程(現地時間) 予定	宿泊地
6月1日(木)	羽田空港発 16:05 ▶ シアトル空港着 09:15 ▶ シアトル空港発 15:20 ▶ ユージーン空港着 16:33	デルタ航空の機内泊 シアトルに現地6/1の朝9時過ぎに到着
6月2日(金)▶6月5日(月)	ローズバーグ/ホームステイ	ローズバーグ泊
6月6日(火)	ローズバーグ/ホストの方とユージーンへ	ユージーン泊
6月7日(水)	ユージーン空港発 7:14 ▶ シアトル空港着 8:35 ▶ シアトル空港発 11:25 ▶ 羽田空港へ	機内泊
6月8日(木)	羽田空港着 14:00 時刻の変更有	羽田空港到着(1日・8日 菖蒲・羽田間は久喜市のバスでの送迎が予定されています)

平成30年度

ローズバーグ友好親善訪問団の記録より

2018年6月7日(水)～16日(土)

コロナ禍で交流が中止となる直前の友好親善訪問団は、帰国後にそれぞれの感想を感想文集としてまとめました。訪問再開に際して、参加者の思いを多くの方々に知っていただきたいと考え、感想文集に寄せられた文章を全文又は抜粋で紹介させていただきました。(紙面の都合上全員の方の文章が載せられないのが残念です。)

ローズバーグ友好親善訪問団に参加して

訪問団長 平澤 香

今回の訪問では、長年の友好の証を改めて感じる事が出来ました。

1点目は 交流の大切さを客観的に評価できる方に出会えたことです。例えば在ポートランド総領事の寺岡敬氏やUCCのデボラ・サッチャー会長は、いずれも両市の長年にわたる草の根交流を高く評価していました。また、地元のザ・ニュースレビュー社のジェネル・ポリンさんは、インタビューの中で、「交換した記念樹が大きく伸びたように交流も発展した」ということを記事の中で紹介してくれました。

2点目は、久喜市(菖蒲町)との交流の証となるものを市民にもよくわかるように大切にいただいていることです。例えばシティーホールにある母子馬像や久喜市の方向を示すポールをはじめとして、交換した品物の数々がきちんと展示してあったり、アートセンターやUCCに植えられた桜の木とその由来を記述したプレートが整備されていたりということです。

(3点目は 4点目は 5点目は 省略)

枚挙にいとまはありませんが、このような素晴らしい体験ができたことは、長い交流の歴史が「友情と理解」に基づいているからではないかと強く感じました。



ポートランド総領事 寺岡敬氏のご挨拶

ローズバーク友好親善訪問団 今!昔! 島崎 和子

(前半省略) 後半三日間は、今回は西海岸バス旅行(ホテル3泊)で、私自身3回目の西海岸バス旅行です。でも、全てが新鮮でダブったところはありません。心のこもった計画に脱帽です。

10年ぶりの再会は変わらぬ親切とやさしさ、友情の再確認の旅でした。

まだ参加されたことの無い方々、ぜひ参加し、体験してください。

- ①夢中になります。 ②人生観が変わります。
- ③友情が生まれます。友好親善に繋がります。



ジャネットさんを囲んで

2回目の訪問

山田 正一

「緊張しなくても大丈夫。飛行機の中では時差ボケにならないようよく寝てきてください。」そんなメールも頂いておりましたが、私たち夫婦は市長さん宅がステイ先とお聞きした時からかなり緊張しておりました。でも、市長さん宅に着いた時、それは杞憂に終わりました。4匹の猫と笑顔いっぱいの子ラー・アルファリッチご夫妻に出迎えていただいたからです。英語を全く話せない私達ですが、持参した最新型翻訳機とライン通話で家族の助けを借りながら相互理解をかなり深めることが出来たと思っております。(後略)



歓迎会で市長夫妻と

希望の架け橋 5回も現れた虹

小島 比ろ子

昨年、ローズバーク親善訪問団、ウィリアムス・ディブ夫妻を受け入れました。言葉の不安でいっぱいでしたが、どうにか知る限りの単語とジェスチャーで意思の疎通を図ることが出来ました。この度は私が訪問団、ホームステイに参加しました。ホスト先はウィリアムス・ディブ夫妻の家です。再会の喜びと初めての街に足を踏み込むドキドキ・ワクワク感。ホストは日本語の話せる通訳さんとともに待っていてくれました。夫妻の心遣いが嬉しくて胸がキュンとなりました。(中略)

オレゴンケープからの帰り道、目の前に七色の虹が5回も現れたのにはびっくり!まるでローズバーク市と久喜市の希望の架け橋のようで感動的でした。また、ディブのジョーク「ヒロコノタメニニジラオーダーシテオイタ。」には心がほころびました。(後略)



クレーターレイクにて ディブ夫妻と

この感動を多くの人達に

菱沼 義雄

今回初めての参加ですが、ローズバークの自然の美しさやローズバークの人達の優しさに感激しました。ホストファミリーのチェンバーご夫妻は、私よりも一回りくらい年上でしたが、とてもパワフルで澆刺と仕事や趣味を楽しんでいました。ワイナリーでのジャズコンサートや、前の年に我が家にホームステイをしたグレッグさん宅への訪問、ジョンさんの農園訪問等とても楽しい毎日でした。久喜市がこんなに美しい都市と姉妹都市として親善交流を図れることを嬉しく思いました。今後この感動を多くの人達に伝えて行きたいと思えます。(後略)



チェンバーさんのテラスにて

一般の海外旅行では味わえない旅行

小山 泰則

私は今回の友好親善訪問団に参加させていただいて、多くの現地スタッフ、ボランティアの皆様をはじめ、ホストファミリーの「ジョン&メアリー」ご夫妻に大変感謝いたします。私は英会話が全くできないため不安いっぱいの中、ローズバークに到着しました。バスを降りるとき、目にした歓迎「Y・Koyama」の文字、とても嬉しかったことを覚えています。短い期間のホームステイでしたが、ホストファミリーの温かい歓迎、食事、選択、観光等、一般の海外旅行では味わえない旅行でした。(後略)



メアリーさんとモーニングコーヒー

感動と感謝のローズバーク訪問

東條 法輝

出発から帰国まで感動と感謝のローズバーク訪問でした。今回ホストファミリーになっていたRickさん、Jackyさん夫妻とWallyさん、Yukiさん夫妻と過ごした5日間、素晴らしかったです。一緒にした料理、マーケットでのショッピング、早朝からのマス釣り、牧場や山頂の製材所めぐりなど本当に貴重な経験が出来たことに感謝いたします。(中略)

この度の訪問で、沢山の友人が出来、これからの目標も出来ました。一生忘れない思い出です。



大自然の中で 全員笑顔

二日遅れのローズバーグ

飯島清江

皆より二日遅れでローズバーグに着きました。その時には、多くの方にご迷惑をおかけしました。と同時に大いに助けていただきました。ありがとうございました。ダイアナさん宅にはすでに10人ほどの人が集まりホームパーティの準備が出来ていました。そこでお手玉で遊んだり、会話を楽しんだりしました。

ダイアナさん宅は川沿いにあり、家のバルコニーからアンプクワ川の流れを見ることが出来ます。川沿いの大きな木にはオスプレイや他の鳥が来ます。素晴らしい景観です。朝には、二匹の犬を連れてUCC大学の構内をゆっくり散歩しました。午後にはワイナリーでジャズ演奏と歌を楽しみました。次の日は野生動物サファリで象に触れたり、えさをやったりしました。(中略)

これからもローズバーグ市の人々との交流が長く続くことを願います。本当にありがとうございました。



ダイアナさんの庭で

令和4年度
(2022年度)

久喜市ローズバーグ協会の活動紹介

久喜市ローズバーグ協会総会 2022.5.13/菖蒲コミュニティセンター

3年ぶりに対面での総会を開くことが出来ました。平澤香会長の挨拶に続き、ご来賓の梅田修一久喜市長をはじめ、市の関係各所の方々のご挨拶も頂戴いたしました。

その後、令和3年度の事業報告・会計報告と役員改選が承認され、令和4年度の事業計画・予算報告を提示、こちらも拍手で承認されました。令和4年度も訪問し合っ
ての交流は残念ながら見送られることとなりましたが、協会の親睦を深めるなど、出来ることを着々と行っていこうと共通理解がなされました。



久喜市菖蒲地区文化祭参加・ローズバーグ協会コーナー 2022.10.30～11.3



久喜市菖蒲文化会館アミーゴにおいて、菖蒲地区文化祭が開催され、例年通り、展示作品を出品、掲示して参加いたしました。展示内容は両市の友好親善の様子を紹介する写真や説明で、ラシャ紙4枚に構成しました。2020年から3年間は、新型コロナウイルス感染症の流行のため、訪問し合っ
ての親善交流ができませんでしたので、これまでの長い交流の歴史を振り返って、今一度交流の意義を新たにとらえるよい機会となりました。

いざ、鎌倉 親睦研修旅行(バス旅行) 2023.3.10

弥生3月の暖かな日に13名の役員が参加して、鎌倉親睦研修旅行を実施することができました。

「七里ガ浜の磯伝 稲村ヶ崎名将の 剣投ぜし古戦場 極楽寺坂越え行けば 長谷観音の堂近く 露座の大仏おわします」とうたわれた「唱歌・鎌倉」の歌詞通りにバスは進み、長谷寺に到着。立派な伽藍と荘厳な11面観音菩薩像に感嘆の声を上げました。その後健脚組は大仏様にお会いして、バスにて鶴岡八幡宮に移動。由緒や「公暁の隠れ銀杏」などの説明に、忘れかけていた知識を新たにすることが出来ました。次回ローズバーグからの訪問者をご案内する候補地の一つに良いのではないかと強く思う旅となりました。



長谷寺で全員集合



大仏様の前で



鶴岡八幡宮で

編集後記

3年間途絶えておりました訪問交流を2023年度は行うことが決まりました。中学生の交流事業(受入)も再開されます。

訪問団参加の皆様の交流の様子を来年度の広報で紹介できるのを楽しみにしています。また、「友情と理解」をより深めていくためにこの広報をお読みになりましたご感想やご意見をお寄せいただければ幸いです。

編集責任者 山田銀子・今村暢子